

(1面のつづき)

今回、前田製管(株)

40%分を市が取得し、取得費1億円を補正計上、当初予算の駅前再開発施設機能強化補助金1億円は不要となり減額補正です。

整備床面積は、①民間貸床271・06坪(52・9%)、②公共床64・05坪(12・5%)、③共用部177・03坪(34・6%)です。

うち市は、公共床に「食文化情報発信スペース」(4kの食文化映像)、「観光案内スペース」「イベントスペース」を配置し、インバウンド(外国人旅行)観光に対応するとして

います。

小中学校に太陽光発電・蓄電池整備

小中学校への太陽光発電設備・蓄電池整備事業1億0630万円は、朝陽六小、大山小、温海小、櫛引中の4校。

鶴岡第三中学校改築事業18億3008万円は、国の補正に伴い29年度本体工事に係る経費を前倒しで実施し、軟弱地盤の改良工事の追加です。

線償還に9億0445万円です。

交通災害共済事業特別会計は28年度末での廃止に伴うものです。



鶴岡市が発注した西目の神子沢(みこざわ)トンネルの補修工事(面導水工)で、請負業者が落札後に不明瞭な資材変更や設計変更があったことなどで、共産党市議団は27日、榎本政規市長宛ての質問状を提出しました。

詳しくは菅井巖議員の一般質問(7日)で取り上げる予定です。

保育士の願いが叶う政治を

20日から県議会2月定例会が始まり、22日におこなわれた厚生環境常任委員会で、保育士の処遇改善・確保について質問しました。

県は昨年度「保育士サポートプログラム」を策定、育成・確保、離職防止、キャリアアップ、再就職支援の取組みを進めています。

そうした中、今年1月に県福祉保育労働組合が、「保育士の仕事に見合った適切な処遇を」「人材不足は深刻」として県に実情を訴えました(関も同席)。

私は委員会でも、この要望をどう受け止めるかと質問、県は「現場

の切実な要望と理解」「県も努力するが、給与改善は単独では難しい。改善を国に引き続き要望していく」と答弁しました。

業務がきつい上に、全産業平均に比べて月給で約8万6千円も低い(厚労省)ため、保育士有資格者の6割は働いていません。

賃金・労働条件の抜本的改善が保育士確保の最大の対策です。子どもの成長を喜びとして頑張る保育士の方々、その願いに応えるためにも、安心して働き続けられる社会が求められます。

(県議 関 徹)

夜の鶴岡の街で

80人が「はしごツアー」

鶴岡民商「はしごツアー」大盛況

2月15日、鶴岡民主商工会(菅原健一会長)主催の「はしごツアー」が開催され、約80人が参加しました。

「はしごツアー」は、参加チケットを購入した参加者が4〜5人の組をつくり、民商会員

や企画に協賛する飲食店を午後7時から9時までの2時間で3店舗まわる企画で、いわば「夜の街のオリエンテーリング」といった風な企画です。

5回目を迎えた今回は、これまでの「鶴岡民商第一支部」主催から、経営金融対策部を中心とする「実行委員会」主催とし、広く一般に参加を呼びかけ、鶴岡民商挙げての取り組みとなりました。

その結果、過去4回で最高だった約40人の2倍となる参加者が集まり、大いに盛り上がりました。

夜の街を巡り、3店舗まわった後で調子がついて二次会に向かう人の姿もありました。

初参加の女性は「初めての店に、初対面の

人と一緒にまわられて楽しかった」との声も。

受け入れた飲食店も「またやってほしい」と好評の様子でした。

実行委員長を務めた梶昇司・鶴岡民商経営金融対策部長は「短期間の取り組みで成功できるか不安だったが、過去最高の参加で大成功し、お店も参加者も喜んでいただけて良かった。次回はもっと周到に準備をして、さらに大きなイベントにしたい」と感想を述べました。

参加した菅井巖市議からは、「参加者も喜び、商売する人に喜び、商店振興や地域経済循環に寄与する取り組みと実感した」と感想が寄せられました。

